

学級活動学習指導案

呉市立広中央中学校 大室 吉樹

- 1 日 時 平19年12月10日～14日
- 2 場 所 第1学年教室
- 3 学 年 第1学年
- 4 題材名 「アルプス魔法の石」ーグループワーク・トレーニングー

5 題材設定の理由

国立教育政策研究所生徒指導研究センターは、「生徒指導体制の在り方についての調査研究」(平成18年5月)の中で、子ども達を取り巻く社会環境が大きく変化する今日、問題行動への予防や解決と児童生徒の健全育成に当たっては、児童生徒一人一人の規範意識を高め、自己を律し社会的自立をすすめていくことが極めて重要な課題となっていると述べている。また、中学校学習指導要領特別活動の目標においては、「望ましい集団活動を通して、心身の調和のとれた発達と個性の伸長を図り、集団や社会の一員としてよりよい生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる」と示している。

所属校の生徒は、のびのびと快活であり、素朴で素直である。しかし、学年が上がるにつれて服装等の違反が増え、相手の気持ちや状況を考えないで平気で発言するなど、集団の一員としての望ましい行動がとれない場面も見受けられる。これらのことから、望ましい集団をはぐくみ、集団のルールを進んで守ろうとする規範意識を育成する必要があると考える。

特別活動において、決められた課題を集団の持つ力を活用した相互的な活動と、その振り返りにより変容を促すグループワーク・トレーニングを行う。この活動で、生徒は集団の一員としてルールを守ることの意義に気付き、さらに、自他の相互作用を生かした活動により、自尊感情がはぐくまれ、相互信頼感を深める。これらのことにより、望ましい集団をはぐくみ、規範意識が高められると考える。

6 題材の目標

- 課題をすることで、人とかかわる楽しさや協力することの喜びを感じさせる。
- 班の中で、自分の考えをしっかりと伝えることができる。
- 自分で見通しを持って考え、自分で判断することができる。
- 話し合いのルールを学ぶ。(班員の考えに耳を傾け、意欲的に話を聴くことができる。)
- お互いの意見の違いを受け入れ、多数決でなく班の意見をまとめる態度を育てる。
- グループワーク・トレーニングのねらいや進め方を理解する。

7 題材の評価規準

関心・意欲・態度	思考・判断	表現・技術	知識・理解
課題をすることで、人とかかわる楽しさや協力することの喜びを感じさせる。	自分で見通しを持って考え、自分で判断することができる。	班の中で、自分の考えをしっかりと伝えることができる。	グループワーク・トレーニングのねらいや進め方を理解する。

学習指導案例1 『みんなでコピー』（第1時）

- 1 本時の題材
『みんなでコピー』 —グループにおける自分の役割を意識する—
- 2 本時のねらい
 - (1) 課題をすることで、人とかかわる楽しさや協力することの喜びを感じさせる。
 - (2) グループワーク・トレーニングに対しての活動意欲を高める。
 - (3) 「みんなでやった」という実感を体感させる。
- 3 準備物
ルール説明用模造紙，振り返りシート
- 4 展 開

場面	学習活動	指導上の留意点	評価方法等
導入	1 説明 (1) 席の移動 (2) グループワーク・ワークトレーニング(以下GWT)について ① GWTでは、グループ(集団)で課題に取り組み、ルールの大切さを知る。 ② ルールを理解すること。そして必ず守ること。 ③ 協力して楽しむこと。 (3) 本時のねらいの確認 「つながる」こと。班で協力して心をつなげていくこと。	初めに班隊形にし、グループで取り組む雰囲気をつくる。 課題がゲームに終わらないよう、何のために行うのか、ねらいをしっかり理解させる。	行動観察 発表
展開	2 実施 (1) 課題の説明 ○ ついたての向こう側にある一枚の絵がある。それを一人一人が見に行き、メンバーの記憶をたどって、そっくり同じように描く。 ○ 絵を見に行くのは、一人2回。 ○ 絵を見に行く時は、何も持参しない。 ○ 走らない ○ しゃべらない ○ 絵を見る時間 30秒 (2) 活動 ○ 時間 12分 (3) 班の協力度の確認 絵を見せ合い発表する。	ルールを掲示し、理解させる。 活動の中で、その場で起きていること、その場で感じとっている感情を見つめさせる。 各グループの状況を見ながら支援する。 班の協力度をアップのため、作戦会議を行うよう助言する。 班員が傷つく場面では、介入する。 活動がうまくいくポイントとして、役割分担があることに気付かせる。(見に行く順、主に描く人、全体を見る人、部分的に見る人	行動観察 行動観察 班内で起きているプロセスを注意深く観察する。

		など)	
終 結	<p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 活動のふり返り（5分） ○ 各班で、意見をまとめた人、いい考えを出した人、絵を主に描いた人など出し合い、最も当てはまる人を決める。 ○ 意見をまとめた人から起立し、順次紹介し、拍手を受ける。 例 「それでは意見をまとめた人、立ってください。今立っている人はみんなの意見をまとめようとしてくれた人です。（拍手！）」 <p>4 一般化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 生まれた時から、グループの一人（一員）であること。 ○ 集団のたくさんの人といい関係を結ぶことができたなら、お互いが気持ちよく充実した生活が送れる。 ○ 活動中のグループの一員として、役割を果たす、協力的な行動を取り上げて、おさえる。 	<p>ふり返りでは、活動中の自分や相手の感情の動き（不安感、どきどき感、安心感、喜び、疎外感など）</p> <p>グループの状況（活発、ひとつになっている、けんか腰、分かれているなど）などのプロセスに注目させ、自ら気付かせる。</p> <p>ふり返りによる気づきを、日頃の生活で生かすよう示唆する。</p>	<p>振り返りシート</p> <p>行動観察 活動中に観察したプロセスを肯定的に評価する。</p>

学習指導案例2 『アルプスの魔法の石1』（第2時）

- 1 本時の題材 『アルプス魔法の石1』
—グループの中で、メンバーの話をしっかり聴き、自分の考えを発表しよう。—
- 2 本時のねらい
 - (1) 班の中で、自分の考えをしっかりと伝えることができる。
 - (2) 班員の考えに耳を傾け、意欲的に話を聴くことができる。
 - (3) お互いの意見の違いを受け入れ、多数決でなく班の意見をまとめる態度を育てる。
- 3 準備物
ルール説明用模造紙、課題シート（メンバー・グループ用）、振り返りシート
- 4 展開

場面	学習活動	指導上の留意点	評価方法等
導 入	<p>1 説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ グループにとって最も良いと思われる決定を、話し合いによって行う。 ○ 多数決という決め方を避ける。 ○ 多数決による決定は、時間は短縮の良さはあるが、お互いの意見のすりあわせが少ない。人の考えを理解 	<p>ゆっくり情景をつかませながら読む。</p> <p>人の意見を認めない態度や、批判したり相手を傷つける発言をしない。</p>	

	<p>できず不満足な人が出てくること がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 三つの話し合いのルール <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをしっかりと相手に伝えること。 ・ 相手の意見に耳を傾け、意欲的に聴くこと。 ・ お互いの意見の違い（違うからいい）を受け入れ、その違いの良さを生かし、もっと良いものをつくること。 	<p>挙手がないようであれば、教師が指示する。話し合いが終わってない班は、その過程を説明させる。</p>	<p>発表</p> <p>行動観察</p>
展 開	<p>2 実施</p> <p>(1) 課題の説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 本時のGWTは、「アルプスの魔法の石」という課題。 ○ アルプスはどの国にあるか。 スイス（他4国） ○ 「アルプスの魔法の石」を読む。 ○ 課題シート（メンバー・グループ用）配布 ○ 大切なもの、必要なものであると思うものから理由を考え、順番をつける。（3分） ○ 全員の意見を出し合い、班で持って行くもの三つ、1番、2番、3番の理由を考え、決める。（10分） ○ ルール <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の考えをしっかりと相手に伝えること。 ・ 相手の意見に耳を傾け、意欲的に聴くこと。 ・ お互いの意見の違いを受け入れ、違いの良さを生かし、もっと良いものをつくる。 <p>(2) 発表 グループ決定の理由をそえて発表。</p>	<p>情景を思い描きながら聞くよう指示をする。</p> <p>発表できる班から手を挙げるよう指示する。</p>	<p>ワークシート</p> <p>発表</p> <p>行動観察</p>
終 結	<p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りシート配布 <p>4 一般化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 岩山登山の場面を思い出す。もし、話し合いをせずに多数決で決めた3つのもので登山をしたらどうなっていたか、頂上まで登れたか考える。 	<p>突然吹雪になり、身も凍るほどの寒さ空腹の状態になる可能性もある。相手の考えがわからない道具を持っていたらどうですか、乗り越えられるか、等の揺さぶりをかける。</p>	<p>振り返りシート</p> <p>活動をふり返るとき、自分や班員の感情の動</p>

			きはどうかだったか。
--	--	--	------------

学習指導案例3 『アルプスの魔法の石2』（第3時）

- 1 本時の題材 『アルプス魔法の石2』
ーグループの中で、メンバーの話をしっかり聴き、自分の考えを発表しよう。ー
- 2 本時のねらい
 - (1) 班の中で、理由をつけて自分の考えをしっかり伝えることができる。
 - (2) 話し合いの仕方を学ぶ ・相手の意見をよく聞く ・自分の意見をはっきり言う
 - (3) お互いの意見の違いを受け入れ、多数決でなく班の意見をまとめる態度を育てる。
- 3 準備物
ポイント説明用模造紙，課題シート2枚（メンバー・グループ用），振り返りシート
- 4 展開

場面	学習活動	指導上の留意点	評価方法等
導入	1 本時のねらいの確認 ○ 岩山を登り、魔法の石を手にし、持ち帰る。目の前には、大きく山頂がそびえ立っている。しかし、登山は、山頂に近づくにつれ困難な状況が予想される。力を合わせること ○ 山頂まで全員で登り切るために、「自分自身が大切にしたいもの」は何か、そして、「班（グループ）で大切にしたいもの」は何かを考える。	初めに班隊形にし、グループで取り組む雰囲気をつくる。（指示が通りにくい生徒の様子が見られたときは、本時のねらい説明後に席移動させる）	行動観察
展開	2 実施 ○ 「アルプスの魔法の石2」を読む。 ○ 課題シート1（メンバー用）配布 いくらいい道具があっても、これからは、一人一人の気持ち大切です。協力度をぐっとアップさせるために、まず、自分自身が大切にしたいことを考えてください。 ○ 自分が大切にしたいものを選ぶ。理由も書く。（3分） ○ 班内で発表する。 ○ 協力の仕方によってはみ子と「魔法の石」を手にできるグループとそうでないグループが出てくる。魔法の石を手にするために、班（グループ）として一番大切にしたいことをまず、自分一人で考える。 ○ 課題シート（メンバー用）に記入する。（3分） ○ 班で意見を3つにまとめる。一人	ゆっくり情景をつかませながら読む。 説明方法について黒板に掲示し、説明する話し合いのポイント 自分の考えをしっかり相手に伝えること。 相手の意見に耳を傾け、意欲的に聴くこと。 お互いの意見の違いを受け入れ、違いの良さを生かし、もっと良いものをつくること。 ルールは、人の意見をバカにしたり、批判したり相手を傷つける	

	<p>一人が大切にしたいことを参考する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 課題シート（グループ用）による班内協議。（10分） ○ グループで話し合った内容を1分を目安に理由をそえて発表する。 	<p>発言をしない。</p> <p>グループの話し合いの状況を見ながら支援する。</p> <p>班員が傷つく状況の時は介入する。</p> <p>活動の中で、その場で起きていること、その場で感じている感情を見つめておくことを伝える。</p>	
<p>終 結</p>	<p>3 振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 振り返りでは、活動中の自分や相手の感情の動き（不安感、ドキドキ感、安心感、喜び、疎外感など）やグループの状況（活発、ひとつになっている、けんか腰、分かれているなど）に注目して記入すること。 <p>4 一般化</p> <p>グループ決定について教師の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 中学校生活で、クラスっていいな、学校っていいなと感じれる経験をたくさんしてもらいたい。そのことが、自分を伸ばしみんなを伸ばすことにつながる。 ○ それを決めるのは半分みなさんの気持ちです。二度とない中学校生活をみんなで充実できるよう、自分ができることからまず始めること。 	<p>活動をふり返るとき、自分や班員の感情の動きはどうだったか。</p>	<p>振り返りシート</p> <p>行動観察</p>